



ここにひまわりを...  
第64号  
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索  
0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念  
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること  
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針  
・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しい安らぎのある施設にします  
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます  
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します  
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく（気持ちの良い）態度で接します  
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

### 瑞雲荘 供養盆踊り

8月18日に瑞雲荘供養盆踊りを開催しました。毎年雨に悩まされながらの開催ですが、今年は例年にならないほどの快晴で雨の心配もなく無事開催することができました。利用者、ご家族様や地元の方々、多くの方で賑わいました。最後にお楽しみ抽選会が行なわれ、デジカメ等電化製品等が当たった方々は大変喜ばれました。



### まわるひまわり盆踊り



7月28日に「まわるひまわり盆踊り」を開催しました。昼過ぎより時折折力ミナリが鳴り、天候が危ぶまれましたが、雨が降ることもなく無事に開催できました。開始時には踊り手の方も少なかつたのですが、日が沈む頃には、踊りの輪が2重、3重になるほどの盛況でした。ご協力、協賛頂いた皆様どうもありがとうございました。

**瑞雲荘 家族会**  
7月28日、本年度第1回目の瑞雲荘家族会定期総会が開催されました。施設の現況報告、施設の方針を説明させていただきました。水害が起こった際の対策や入所の判定基準、職員の定着率、離職率についての質問もあり、意見交換をさせていただきました。また、7月より算定する日常生活継続支援加算について補足説明を行いました。ご家族の方々が、開会前、閉会后に利用者様とご面会をされ、多くの笑顔が見られました。

**瑞雲荘 運営支援委員**  
7月27日、本年度第1回目の瑞雲荘運営支援委員会が開催されました。計画停電が実施された際の瑞雲荘での対応や在宅部門を含めたひまわり全体の運営状況について意見を交わしました。



### 訪問看護通信

#### きつき訪問看護ステーション

#### 間違えやすい熱中症対策

連日の猛暑の為、熱中症にかり、病院に運ばれた人も過去最多となっています。意外と知られてない熱中症対策を以下に列記します。是非、参考にしてください。

重篤な患者さんの内、屋内でかかった患者さんは60%を占めます。家の中だからと安心は禁物です。特に台所など蒸し暑い場所でのこり易いです。

道路がアスファルトの場合気温は45度、外壁のコンクリートは37度にもなります。夜の土の道路は21度まで下がるのですがアスファルトは27度までしか下がりません。夏の暑い日に赤ちゃんをベビーカーで散歩させる時などは、路面からの反射で余計に暑いので夕方、日陰を選んだり水分を摂取させる等しいければなりません。

ビールなどのアルコール類は水分の補給になりません。ビールは排尿を促進す為、血液がどろどろになります。ビールを飲んで水分が補給したと勘違いしてはいけません。体が暑いからと、水風呂に入るのは良くありません。汗腺が閉じて、かえって体内に熱がこもります。シャワーが望ましいです。

今宮

### リハビリDE自立支援

お久しぶりです。理学療法士の古賀です。暑い毎日皆様元気ですか？

今回は関節可動域訓練(Range of motion exercise: ROMex)と言われる関節の運動方法を幾つかご紹介します。

肩関節の曲げ伸ばし運動(肩関節の屈曲・伸展運動)

一方の手で手首をもう片方の手で肘を持ちゆつくと腕を挙げたり戻したりします。

股関節の屈曲・伸展運動)

一方の手で足首をもう片方の手で膝の関節部分を持ちゆつくりと曲げ伸ばしをします。

足の関節の曲げ運動(足関節の背屈運動)

一方の手でアキレス腱の部分を含むように持ちもう片方の手で足首の部分固定してアキレス腱を伸ばすようにします。

関節の動きが悪くなると日常的に動作を行う際に制限が出てきます。関節可動域は、何らかの原因で制限が出てしまったらその改善をはからなくてはなりません。

また、そのような事にならないように関節可動域を維持していく事が大切です。

今回ご紹介した運動はパートナーによって運動が行われるのが原則です。ゆつくりとスムーズな運動を関節の動く範囲で声をかけあい仲睦まじく行ってみてください。

ではまた次回・・・



高尾 高尾

**後記**  
毎日毎日暑いですが、汗っかきな私は両生類のように常時ベトベトしておりません。さて、そんな季節にお薦めしたい一品を紹介いたします。先日行きつけのカレー酒場で友人とお酒を飲んでると、店主より冷たいカレー+ほろほろご飯の組み合わせは意外イケるとの話を聞きました。早速、同席した友人がそのメニューを頼むと、なるほど美味しい、「ああ、中々旨いな、冷たいルーもイケるわあ」なんて話をしてると、さらに店主が、「そうや！氷を入れても旨いかもしれん！」と極悪な思いつきをしました。早速クラッシュした氷をカレーに投入、友人は「不味い！トラウマになるわ！」と涙目になり、また、「うっ！！」と声を抑えたりトイレに駆け込む友人もいました。私はそんなに不味いなら一口頂こうとそのカレーを口に運ぶと、どうでしょう、お口の中でモチモチした白米の食感、冷たいながらも程よい辛さのルー、そして噛み応えのある氷が三重のハイモニーを奏でていきます。はつきり言います。これは美味しい！そういえば、玖珠町にある喫茶店ではカレー茶漬けを出します。また、北海道室蘭では冷やしカレーつけ麺が流行しています。いつその事、それを超えるメニューを開発したい！という使命感が私の中に宿りました。

「じゃあ、カレールーと氷をミキサーにかけてシャーベットにしてくれん？」まさしくカレー界の歴史を変える一言が私の口から出しました。そして登場したのが写真の「カレーシャーベット」です。友人二人は口にもせませんでした。試食した店主は、「無かった事にしてくれ、間違ってもブログ等には書かないように」と念を押されました。しかしコレが美味しいです！本当です！皆さん是非試してください！尚、そのカレー酒場はカレーを筆頭にお酒も料理も美味しいです。高尾



### 利用者様感想 永松 トシ子様

『みんなで頂く流しそうめんはとても美味しく、ついつい食べ過ぎてしまいました。ありがとうございました。』

この暑い夏を乗りきっていたらだこうと、今年も夏の恒例行事である流しそうめん流しを行いました。使用した竹は藤の川の有志の方から頂いたもので、男性職員が竹割、節取り等の準備を行い、9mもの本格的な流しそうめん流しです。皆様とても楽しみにされており、職員の掛け声と共に上から流れてくる4色もの流しそうめんやサクランボを上手くすくい上げられていました。普段少食の方もたくさん召し上がられたりと、とても喜んでくださり、この夏の暑さも吹き飛んだ様子でした。



## 三楽園デイサービス



子ども達からは「利用される方全員の名前を覚えていますか?」「車椅子が初めて作られたのはいつですか?」などの質問があり、意欲的に手をあげて質問する姿にとっても感心しました。子ども達が少しでも福祉に興味を持つきっかけになればと思います。(佐藤)

平成24年度夏休み体験スクール12参加

杵築市社会福祉協議会主催の「小学生夏休み体験スクール12」に社会福祉法人ひまわりから重松相談員、木元相談員、佐藤相談員が参加し、子ども達にアイマスクと白杖を使って点字ブロックの上での歩行、車椅子の操作方法、介助方法を体験してもらいました。「前が見えなくてとても怖かった。」「白杖を使って歩くのは難しかった。」「白杖が聞かれたり、車椅子の介助を体験する場面では、介助方法を熱心に聞き、取り組む姿が印象的でした。」

## きつきの里デイサービス

### ボランティアさん訪問

暑い日が続く中、フラダンス、フロアドリム、わかば会、浜っ娘のみなさまが訪問され、利用者様を歌や踊りで楽しませてくれました。利用者様も歌にあわせて合の手を入れたり、体操や踊りに参加されていました。



### ひまわりのひまわり

総合ケアセンターひまわりのひまわりです。室内には利用者様に折り紙で花びらを折ったひまわりを飾り、外には職員が植えたひまわりが大きく育ちました。どちらも暑さに負けず、立派に育ちました!



三楽園利用様絵手紙  
「いわし」  
木下東子様作品

## 瑞雲荘

### 残暑お見舞いはがき

入所者の皆様より瑞雲荘でのご様子を収めた写真や、ひとことメッセージをしたためた残暑お見舞いはがきをご家族宛に送付致しました。



## 電気治療

きつきの里デイサービスでは、利用者様に理学療法の一環として、患部にそれぞれ適した電流を流す電気療法を行っています。ご本人の希望を聞きながら、体調やペースメーカー等の有無を確認し、膝や腰を温める電子機器、生体高圧電子医療機器を利用していただけるようにしています。利用者様には大変好評で「これをするとな、動きが良くなるんで」と話される利用者様もいらっしゃいます。



絵手紙の亀石先生が利用者様にお手本として描いてくださったひまわりです。



## 花火大会

7月23日に瑞雲荘では初めての取り組みとなる花火大会を開催しました。

利用者様方は久しぶりの花火鑑賞に夕方になるとソワソワとされ、日が沈むのを待ちきれない様子でした。

日没と共に、花火が打ち上がり、花火大会の始まりです。万が一の事故を防ぐために打ち上げ花火は行いませんでしたが、噴射花火や手持ち花火、線香花火までバラエティに富んだ花火を鑑賞され、利用者様方は口々に「たまや〜」「かぎや〜」と声をあげられてました。

夜間の行事を行うことは普段あまりない為、皆様とても喜ばれていました。今後も出来る限り、利用者様の意向を聞きながら、喜ばれる行事を計画していきたく思います。

